柏崎刈羽原子力発電所6号機の安全性向上に関わる取り組み

資料1

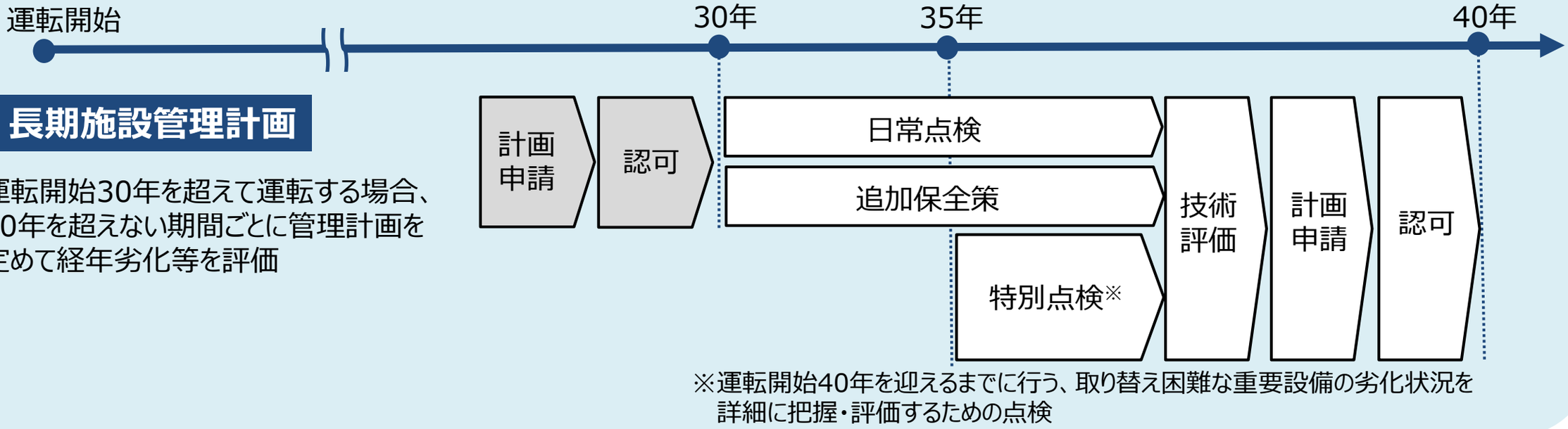
2026年11月12日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

- 当所6号機は、2026年11月7日で運転開始から30年を迎えるにあたり、今後の運転において想定される設備の経年劣化等に対する技術評価や、それを管理するための計画を策定
- 次の10年間においては、2026年10月27日に認可された長期施設管理計画に基づき、日常的に実施している点検に加えて、経年劣化等に対する技術評価にて抽出された追加保全策を実施
- また、継続的に安全性を向上させる活動も並行して実施し、定期事業者検査ごとにその取り組み状況や有効性の評価を行う等、引き続き安全最優先のもと安定運転に努めていく

経年劣化への対応

長期施設管理計画

運転開始30年を超えて運転する場合、10年を超えない期間ごとに管理計画を定めて経年劣化等を評価



※運転開始40年を迎えるまでに行う、取り替え困難な重要設備の劣化状況を詳細に把握・評価するための点検

継続的な安全性向上

安全性向上評価

最新知見を踏まえた設備更新や、保安教育の充実など、原子炉の安全性・信頼性を継続的に向上させていくための活動について事業者が自ら評価し、規制要求に上乗せして自主的に改善を進める仕組み

